

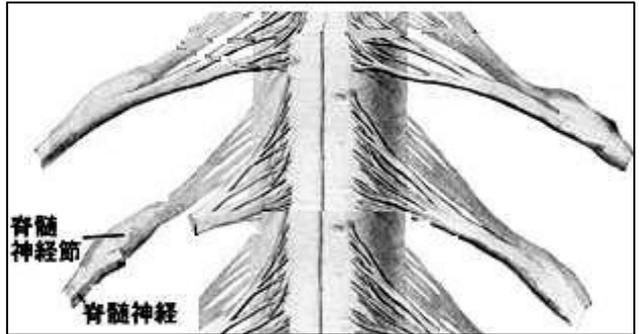
セン南 うろでる プレス (2006年冬号)

ヘルペスは、ヘルペスウイルスに感染することによって、皮膚や粘膜に水ぶくれができる病気です。小児の**水痘**もヘルペスですが、ここでは大人の病気を扱います。**口唇ヘルペス**は単純ヘルペスウイルス1型、**性器ヘルペス**は単純ヘルペスウイルス2型、**帯状疱疹**は水痘・帯状疱疹ウイルスの感染です。



皮膚に違和感があつてから半日くらいの中に赤い腫れがみられるようになります。ウイルスの増殖が活発になっている時期です。この時期から治療を始めることが大切です。赤く腫れたところに水ぶくれができます。水ぶくれの中にはウイルスがたくさんいます。水ぶくれのあとにかさぶたができ、3~7日間程度で治っていきます。

ヘルペスウイルスは、一度感染すると人間の神経細胞の中に隠れ潜んでしまいます。これがヘルペスウイルスの特徴である「潜伏感染」です。単純ヘルペスウイルスの1型は三叉神経節、2型は腰仙骨神経節に潜伏します。ウイルスが神経細胞の中でじっと潜伏している間は症状はありません。ところが、体の抵抗力が衰えているときに、急に出てきて暴れ出すのです。治療は、ウイルスの増殖を抑える抗ウイルス薬を使用します。抗ウイルス薬は、正常な細胞へウイルスが新たに感染することを防ぎ、症状が出ている期間を短くします。左上の帯状疱疹の写真は私です。患者さんの写真を公表したりはしませんので、ご安心下さい。初期症状で抗ウイルス薬を飲み始めたためこれ以上進行せず、中期(水ぶくれ)、後期(かさぶた)の写真はありません。性器ヘルペスでは、抗ウイルス薬を継続して飲む再発抑制療法も認可されました。



Q. ウロデルって何？

A. ラテン語で泌尿器は**ウロロギア**、皮膚科は**デルマトロギア**、皮膚泌尿器を略して**ウロデル**と言います。

(以下、2013年12月に内容を書き換え。)



院長紹介 医学博士 木村 明

履歴: 東大卒・東大病院医局長・東大講師・東京共済病院部長
泌尿器科専門医・超音波専門医

院長挨拶

横浜市都筑区センター南駅バスターミナル前の泌尿器科・男性皮膚科クリニックです。院長の木村明は1953年生まれで、2013年還暦を迎えました。1978年東大を卒業し、すぐ泌尿器科医になりましたので、泌尿器科に関しては35年のベテランです。超音波医学会認定専門医でもありますので、結石・頻尿の方には院長自ら超音波検査を行います。男性皮膚科は特に非露出部を得意としております。泌尿器科学会認定専門医の院長が一人で診療しております。皮膚科学会認定専門医はおりません。得意分野を明確にするため、2013年、診療科目を泌尿器科・皮膚科から、泌尿器科・男性皮膚科に変更しました。